

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
120	拓殖大学	国際社会学	新田目 夏実 国際学部 教授	2	後期	木	13	15:45～17:30	拓殖大学 八王子国際キャンパス	5

#### 【授業の目的及び到達目標】

グローバル化には「光」だけでなく「影」の部分もあります。本授業では、グローバル化に伴って増大する「人の移動」がもたらす諸問題を社会的観点から学ぶことが目的です。特に、「人の移動」には「自発的」移動と難民のような「非自発的」移動があること、また、受け入れ社会の文化、社会、政治や経済に様々な影響を及ぼすことを理解したうえで、移民・外国人にとってまた受け入れ社会にとって、望ましい政策提言ができるようになることが授業の到達目標です。

#### 【授業内容】

##### 1. 国際社会学への招待

なぜ国際社会学が必要になったのでしょうか。グローバル化の歴史、グローバル化の「光と影」、グローバル化によって生じつつある社会問題など、本授業で取り上げる「社会的視点」について解説します。

##### 2. 国際人口移動の加速化

国際移民を歴史的に振り返ります。「奴隷貿易」から戦後復興のための「労働移民」まで振り返り、現代の国際移動をとらえる視点について学びます。

##### 3. 世界の難民問題

「難民」とは誰のことを言うのでしょうか。「難民条約」の理念、「政治難民」から「紛争難民」への難民の性格の変化と「欧州難民危機」について紹介します。

##### 4. 世界の難民、日本の難民

難民問題は世界的な課題ですが、日本はどのように対応したらよいのでしょうか。日本の難民政策について、「インドシナ難民」から「ウクライナ避難民」受け入れまで解説します。

##### 5. 移民と犯罪

ビジネスのグローバル化は、組織犯罪集団による犯罪のグローバル化をもたらしました。その一つが「人身取引」です。なお、第1回から第4回までの内容について中間試験を行います。BB および授業を通じて中間試験の結果についてフィードバックを行います。

##### 6. 移民と開発

国際移民はしばしば開発途上国から先進国へ移動します。移民と母国の関係、移民のホスト社会への適応、そして女性移民が直面する問題について紹介します。

##### 7. グローバル化の中の日常生活

「人の移動」はホスト社会の中に新しい問題を発生させています。家族生活、地域社会、異なる宗教に由来する文化的軋轢などについて検討します。

##### 8. 移民政策—アメリカ

「移民の国」アメリカでは、どのように移民に対応してきたのでしょうか。その歴史を振り返り、現状について検証します。なお、第5回から第7回までの内容について中間試験を行います。BB および授業を通じて中間試験の結果についてフィードバックを行います。

##### 9. 移民政策—ヨーロッパ

国境が陸続きのヨーロッパにおいて、国際移動はそもそも当たり前の現象でした。しかし、「欧州難民危機」以降難民への対応に苦慮しています。

##### 10. 日本の移民—戦前～1980年代

日本は移民の送出国だった時期があります。戦前からさかのぼり、新たな移民流入が始まる1980年代までの特徴について紹介します。第8回と第9回の内容について中間試験を行います。BB および授業を通じて中間試験の結果についてフィードバックを行います。

##### 11. 日本の移民政策の変貌—1980～今日

日本の「移民政策」は、少子高齢化に伴い「バックドア」、「サイドドア」時代を経て「フロントドア」時代へと大きく舵をきりました。この時期の政策的変更を中心に検討します。

##### 12. 多文化主義の可能性と問題点 1

「多文化共生」は理想ですが、その実現は容易ではありません。「同化主義」から「統合」への理念の変化、多文化主義のバリエーション、「反移民主義」と人種暴動等について検討します。

##### 13. 多文化共生の可能性と問題点 2

日本の「多文化共生」政策を紹介するとともに、移民の子どもたちの教育問題について紹介します。第10回から第12回までの内容について中間試験を行います。BB および授業を通じて中間試験の結果についてフィードバックを行います。

※拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

#### 【授業の方法】

この科目は講義形式ですがディスカッションも行います。BB上に毎回レジュメおよび関連資料をアップロードします。

#### 【予習・復習】

毎回授業の最初にグループに分かれ「理解度テスト」を行いますので、前もって指定した課題図書・資料等を予習してきてください。また、BBを用いてその日の学習内容や質問事項を記入することで復習してください。

#### 【成績評価方法】

成績は授業への参加状況・BBによるコメント記入(30%)、中間試験(もしくは課題レポート)(45%)、および学期末試験(もしくは課題レポート)(25%)にもとづき総合的に評価します。テスト等のフィードバックは、授業およびBBを通じて行います。

#### 【参考書、教材等】

石井香世子『国際社会学入門』ナカニシヤ出版、2017年。  
樽本英樹『よくわかる国際社会学』ミネルヴァ書房、2017年。  
および関連資料を適宜指定・配布します。

※ この授業は、9/21(木)が初回です。